

京都市交響楽団

2013 11/30 土

午後2時30分開演
(午後1時30分開場)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

第574回定期演奏会

The 574th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra
Saturday, November 30, 2013 / 2:30PM Kyoto Concert Hall

開演前(午後2時10分ごろから)は指揮者による「プレトーク」、
終演後は「レセプション」でお楽しみください。

「プレトーク」はホール・ステージ上にて、
「レセプション」はホール・ホワイエにて開催します。



詩情豊かなドイツ・ロマン派の極み、広上淳一のシューマン & イタリアの名チェリスト、エンリコ・ディンドのショスタコーヴィチ!

ショスタコーヴィチ:祝典序曲op.96
ショスタコーヴィチ:チェロ協奏曲第2番op.126
シューマン:交響曲第2番ハ長調op.61

Shostakovich: Festive overture op.96
Shostakovich: Concerto for violoncello and orchestra No.2 op.126
Schumann: Symphony No.2 in C major op.61

指揮: 広上 淳一 (常任指揮者)
Conductor: Junichi HIROKAMI (Chief Conductor)

入場料 **S** ¥4,500 **A** ¥4,000 **B** ¥3,500 **P** ¥2,000 (舞台後方席)

- ◆当日残席がある場合のみ発売: 学生券&後半券 S¥2,000 A¥1,500 B¥1,000
※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。
- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/11月22日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。
- ◎お問い合わせ: 京都コンサートホール(075)711-3231・京都市交響楽団(075)711-3110
- ◎ホームページ: <http://www.kyoto-ongeiun.jp/kyotoconcerthall/> (京都コンサートホール)
<http://www.kyoto-symphony.jp/> (京都市交響楽団)
- ◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
- ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。
- ◎プレイガイド(電話予約)
 - ・京都コンサートホール(075)711-3231
(ホームページからオンラインチケット購入もできます)
 - ・チケットぴあ(0570)02-9999 Pコード186-445
 - ・ローソンチケット(0570)000-407 Lコード59801

チェロ: エンリコ・ディンド

Violoncello: Enrico DINDO

©Fulvia Farassino

主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市

協賛: ROHM株式会社 協力: 株式会社ドルチェ楽器 後援: (株)エフエム京都



美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション



京都市交響楽団 第574回定期演奏会

The 574th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

詩情豊かで濃厚なドイツ・ロマン派の傑作、シューマンの交響曲第2番を
常任指揮者・広上淳一のダイナミックな指揮で。ミラノ・スカラ座管首席からソリストへと転身、
1997年ロストロポーヴィチ国際コンクール優勝のイタリアの名チェリスト、エンリコ・ディンドによる
ショスタコーヴィチ晩年の渋みとアイロニーの効いた協奏曲も聴き応え十分！



Photo: Greg Sailor

指揮 広上 淳一 (常任指揮者) *Conductor: Junichi HIROKAMI (Chief Conductor)*

東京生まれ。東京音大指揮科に学ぶ。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィルハーモニー管、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。91～95年にはノール・ショピング交響楽団、98～2000年にリンブルク交響楽団の各首席指揮者を、97～2001年ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、91～2000年には日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者を歴任している。近年では、ヴァンクーヴァー響、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー響、ポルティモア響、シンシナティ響、カルガリー・フィルハーモニック、スタヴァンゲル響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ポーランド放響、スロヴェニア・フィルハーモニー管、サン・パウロ響等へ客演。06～08年には米国コロンバス交響楽団音楽監督を務め、ヨーヨー・マ、ミドリをはじめ素晴らしいソリストたちとの数々の名演とともに Denon レーベルにはチャイコフスキーの録音を残し、その実力を内外に知らしめた。07年夏にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本に招聘され、ハイドンとラフマニノフ、08年5月には小澤征爾の代役として急遽、水戸室内管弦楽団の指揮台に立ち、モーツァルト、ベートーヴェンほかのプログラムとともに絶賛を博した。オペラ指揮の分野でも89、90年のシドニー歌劇場におけるヴェルディの《仮面舞踏会》や《リゴレット》が高く評価されたのははじめ、最近では、新国立劇場《椿姫》、日生劇場《フィガロの結婚》が記憶に新しい。また、多忙な指揮活動と並行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。2013年1月「第32回藤堂音楽賞」受賞。08年4月から京都市交響楽団常任指揮者。



©Fulvia Farassino

チェロ エンリコ・ディンド *Violoncello: Enrico DINDO*

エンリコ・ディンドは、6歳でチェロを習い始め、エジーディオ・ロヴェーダとアントニオ・ヤニグロの元で修了。1997年、パリのロストロポーヴィチ・コンクールで優勝、この偉大なマエストロはディンドについて「稀有の才能を持ったチェリストだ。イタリア人の伸びやかな声のように流れる並外れた音を持つ、完全な芸術家であり完成した音楽家だ」と絶賛した。以来、彼はソリストとしてのキャリアをスタートし多くの国で演奏、BBCフィル、ロッテルダム・フィル、フランス国立管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スカラ・フィル、RAI国立響、ローマ・サンタチェチーリア管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、hrフランクフルト放送響、サンクトペテルブルク・フィル、サン・パウロ響、NHK響、トロント響、シカゴ響など数々の名門オーケストラと公演を行った。また、リッカルド・シャイー、アルド・チェッカート、ジャンンドレア・ノゼダ、チョン・ミュンフン、ダニエレ・ガッティ、パーヴォ・ヤルヴィ、ワレリー・ゲルギエフ、リッカルド・ムーティ、そしてムスティスラフ・ロストロポーヴィチ等、権威ある指揮者たちと共演。またロンドン(ウィグモア・ホール)、パリ、エヴィアン、モンペリエ、サンティアゴ・デ・コンポステーラ、プタペストの春、ストレーザの音楽週間、サンクトペテルブルクの白夜祭、ドプロヴニク、ロッケンハウスなどの音楽祭、コンサートホールにたびたび招聘されている。これまでジュリオ・カスタンニョーリ、カルロ・ポツカドーロ、カルロ・ガランテ、ロベルト・モリネッリ等の数々の作曲家がディンドに作品を献呈している。エンリコ・ディンドは名門デッカから2011年にバッハの無伴奏チェロ組曲をリリース。またシャンドスからは、デンマーク国立響とジャンンドレア・ノゼダとの共演で、ショスタコーヴィチのチェロ協奏曲をリリースした。使用楽器は、プロ・カナール財団貸与の1717年製ピエトロ・ジャコモ・ロジェーリ(Pietro Giacomo Rogeri)。



京都市交響楽団 *Kyoto Symphony Orchestra*

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。最近では、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」、「京都創造者大賞2007」受賞。08年4月、第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任し、09年からは「スプリング・コンサート」や「オーケストラ・ディスカバー」など新企画で注目を集めている。10年11月広上淳一指揮による定期演奏会のライブ録音CD第1弾、12年2月ライブ録音CD第2弾を発売し、13年9月にはライブ録音CD第3弾を発売予定。半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

次回
予告

2013年 9/6 金から発売！



特別演奏会「第九コンサート」

大好評2回公演！
人類の愛と平和を願う名匠アツモンの「歓喜の歌」！

日時：2013年12月27日 金 午後7時開演
2013年12月28日 土 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール
指揮：モーシェ・アツモン 合唱：京響コーラス
独唱：半田 美和子(ソプラノ) 富岡 明子(メゾソプラノ)
吉田 浩之(テノール) キュウ・ウォン・ハン(バリトン)
曲目：ベートーヴェン：「エグモント」序曲op.84 (12/27公演)
ベートーヴェン：歌劇「フィデリオ」序曲op.72 (12/28公演)
ベートーヴェン：交響曲第9番2短調「合唱付」op.125 (両日とも)

入 場 料

S ¥5,000 A ¥4,000 B ¥3,000

次回
予告

2013年 10/20 日から発売！



©K.Miura

特別演奏会「ニューイヤーコンサート」

広上淳一のタクトが舞い踊る、ワルツ&ポルカで新年を！
～京響の若きソリストで聴く華麗なる協奏交響曲とともに～

日時：2014年1月12日 日 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール
指揮：広上 淳一(常任指揮者)
独奏：泉原 隆志(ヴァイオリン/京響コンサートマスター)
小峰 航一(ヴィオラ/京響首席ヴィオラ奏者)
曲目：モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲変奏長調 K.364(320d)
ロンビ：コペンハーゲンの蒸気機関車のギャロップ
R.シュトラウス：歌劇「ばらの騎士」組曲から「ワルツ」 ほか

入 場 料

S ¥5,000 A ¥4,000 B ¥3,000 P ¥2,000 (舞台後方席)